

県名	熊本県	商工会名	高森町商工会
事業者名	株式会社堀農園		
題名	ミニトマト専業農家の販路開拓		



催事出展時の陳列風景

氏名	古庄 彰
支援テーマ	
	創業
	経営革新・事業再構築
	地域資源活用・新連携
	農商工連携・6次産業
☒	販路拡大・販路支援
	海外展開・海外販路開拓
	事業再生・再チャレンジ
	事業承継
	ものづくり
	雇用・労務関係
	資金繰り
	持続化補助金
	DX・IT化支援
	価格転嫁
	事業継続計画 (BCP)
	その他

※複数のテーマ選択可

支援前の課題

当事業者は、法人成りしているが、夫婦お二人でミニトマトの生産、販売を行ってきました。販促活動としては近隣のコンビニエンスストアに商品を提供することを中心に行っていました。商品は店頭並び、一定の認知は得られましたがそれ以上の売上増にはつながっていないのが実情でした。

その背景には、農業における生産の現場が過重であることも影響しています。生産に注力するあまり、販促活動やマーケティングに費やす時間が限られていました。販路を広げていくための活動が後手に回り、販促やマーケティングの重要性を再認識しながらも、実行に移すための余裕がないのが状況でした。

その結果、消費者からの認知度が限られ、販路が拡大しないというジレンマに直面しています。

支援内容

催事や商談会を活用し、消費者との直接的な接点を増やすことで認知度を高め、新たな取引先を探すことを目標としました。特に、比較的費用が抑えられる商工会主催の催事への参加は経費面でも非常に大きなメリットとなりました。

昨年度から参加した『くまもと物産フェア』や『南阿蘇・高森・西原マルシェ』では、実際に消費者と対面で接することができる貴重な体験を重ねました。事業者にとって初めての催事出展となるため、準備段階からしっかりとサポートしました。搬入搬出の手順や商品陳列のレイアウト、ブース作りなど、計画を立てて実行しました。また、事業者である奥様の接客時の商材説明には、初めから定評がありました。毎回の出展では、その説明力で来場者の関心を引き、商品の魅力を伝えることができました。出展を重ねるたびにその成長を確実に実感できました。

今年度は『グッドプロダクト賞』認定にチャレンジすることになりました。奥様の提案で、100%ミニトマトジュースを商品としてエントリーすることが決まりました。これにより、ジュースとしての独自性と、栽培から製造までこだわり抜いた品質を強調し、他の製品との差別化を図ることができました。プレゼンテーションにおいても、製品の魅力を最大限に伝えるため、工夫を凝らしました。具体的には、ミニトマトジュースの製造過程や栽培方法、健康効果に焦点を当て、審査員に対してその価値をしっかりと伝えられるように準備を重ねました。

その結果、『グッドプロダクト賞』を認定されることとなりました。

支援の経過

期間	支援内容
R7 9月	専門家個別相談
R7 10月	くまもと物産フェア及びグッドプロダクト賞に出展

支援内容の感想

販路拡大に伴い出荷量も増えてきていますが、ビニールハウスとはいえ気候により生産量が安定しない場合もあります。今後、品種をふやすなどして安定した生産量の確保が課題であると考えます。

事業者に意欲があることが一番ありがたいです。